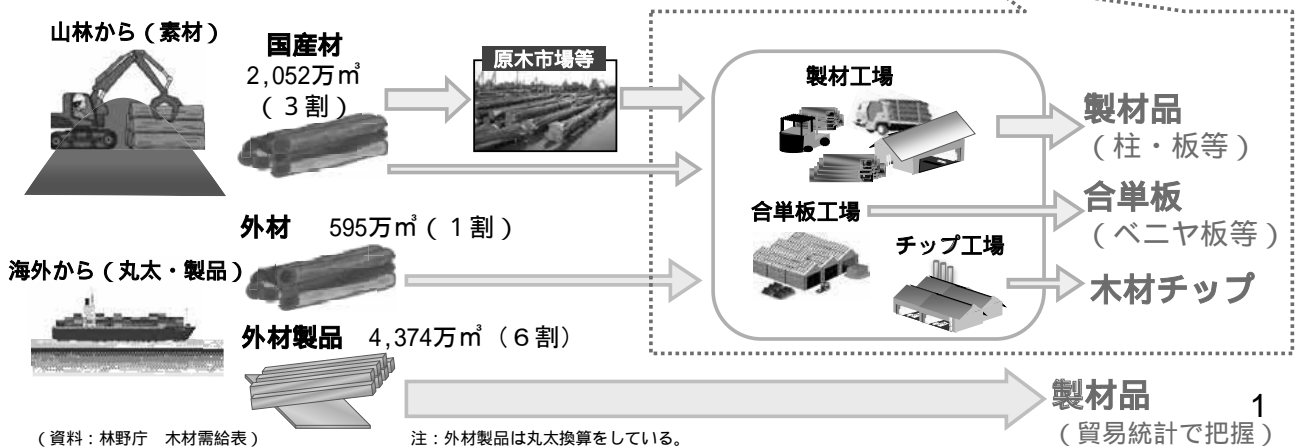


# 1 木材の需給構造及び調査体系

## (1) 木材の需給構造

- ・我が国の森林面積は2,500万ha（国土の3分の2）、森林資源の蓄積量は毎年約1億m<sup>3</sup>増加し、現在49億m<sup>3</sup>。
- ・木材需要量のうち、製材用が39%、合板用が15%、パルプ・チップ用が41%。
- ・伐採・搬出された木材は、原木市場等を経て6割は製材工場、1割は合板工場、3割がチップ工場に供給され製品に加工。

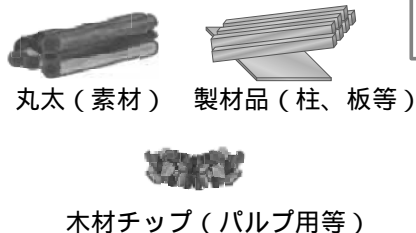
木材統計の調査対象（素材別入荷量、製品別生産量、製品別出荷量、製品別在庫量）



## (2) 調査体系

### < 基幹統計調査 >

#### 木材統計調査



#### 基礎調査（年次調査）

- ・製材工場等に入荷した丸太の樹種、入荷都道府県を調査
- ・木材製品（製材品、合板、木材チップ等）の生産量等を調査

#### 月別調査

#### 製材月別調査

- ・製材品の生産量、出荷量、在庫量等を調査

#### 合単板月別調査

- ・合板の生産量、出荷量、在庫量等を調査

### < 一般統計調査 >

#### 木材流通統計調査

#### 木材価格統計調査（月別調査）

#### 素材・木材チップ価格調査

丸太の購入価格、木材チップの工場渡し価格

#### 木材製品卸売価格調査

木材製品の販売価格

#### 木材流通構造調査（5年周期）

- ・丸太及び木材製品の入荷先別入荷量、出荷先別出荷量等を把握し、木材の流通ルートを把握する。

2

## ( 3 ) 調査対象

調査	木材統計調査（基幹統計調査）			木材流通統計調査（一般統計調査）		
	基礎調査 （年次調査）	月別調査（毎月調査）		木材価格統計調査（毎月調査）		木材流通 構造調査 （5年周期）
		製材 月別調査	合単板 月別調査	素材・木材 チップ価格調査	木材製品 卸売価格調査	
目的	素材生産並びに木材製品の生産及び出荷等に関する実態を明らかにし、林業行政の基礎資料を整備すること			木材の価格水準及びその変動並びに木材の流通構造を的確に把握し、木材の需給及び価格の安定等流通改善対策、木材産業の合理化対策、木材流通構造改善施策等の推進に資すること		
標本 規模	平成25年	平成26年12月現在		平成26年12月現在		平成23年
	製材工場 3,394工場	製材工場 1,172工場	合単板工場 75工場	製材工場、 合単板工場、 木材チップ工場 295工場	流通業者 64業者	製材工場、 合単板工場、 木材チップ工場、 集成材工場等 1,606工場
	合単板工場 145工場					流通業者 1,495業者
木材チップ工場 977工場						
調査 方法	オンライン、 郵送又は調査員	オンライン 又は郵送		オンライン、郵送又はFAX （市場化テストで実施）		郵送又は 調査員

3

## ( 4 ) 調査結果の利活用事例

「森林・林業基本計画」（平成23年7月26日閣議決定）  
における「木材総需要量の見通しと国産材利用の目標」につ  
いて、林産物の供給及び利用の目標設定

「木材需給表」（林野庁）の作成に係る資料

林野庁による木材需給会議における「主要木材の需給見通  
し」の作成

国民経済計算における四半期別GDP速報（QE）の供給  
側推計の「林業」及び「製材・木製品」の推計、並びに年次  
推計の財貨・サービスの供給及び需要の農水産物（林産物）  
の産出額の推計

産業連関表の内生部門における林業部門等の推計

鋳工業指数の生産・出荷・在庫指数の算出

4